

## 勿凝学問 242

○福祉○負担、○に文字を埋めてください  
「新報道 2001」が6つの政党に出した質問

2009年8月9日  
慶應義塾大学 商学部  
教授 権丈善一

タイトル通りの話である。今や（いや、昔から？）全政党が福祉の充実を言っているから、6つの政党の代表が答えた○負担だけを記録しておこうと思う。

### 政党五十音順

共産党（小池晃氏）	高負担
公明党（高木陽介氏）	中低負担
国民新党（亀井久興氏）	中負担
自民党（林芳正氏）	中低負担
社民党（保坂のぶと氏）	中負担
民主党（長妻昭氏）	中負担

ふ～ん。

おまけ

**From:** Y Kenjoh [mailto:kenjoh@hotmail.co.jp]

**Sent:** Monday, August 10, 2009 2:16 PM

**Subject:** 昨日はお疲れ様でした

冒頭、実にいい質問でしたので、紹介させて頂きました。

勿凝学問 242 [○福祉○負担、○に文字を埋めてください——「新報道 2001」が6つの政党に出した質問](#)

負担増を言わない政党は、絶対に低負担とは書くことができませんからね。

でも日本が低負担であると言うことは厳然とした事実ですから、その事実からどのように目を背けているかを浮き彫りにするいい質問でした。

長妻さんは、100%、財務省の論理に陥ってますね。

彼の論に続けて、「そう、その通り。だから負担増のすべてを赤字国債発行の削減に使うべき」というのが自然の流れになるでしょうね。それと、日本は、赤字国債で賄った後の政府支出そのものの GDP 比も、低いんです。これだけの借金——後世代への負担先送り——をしながら、その借金で賄ったあとの支出も低い。

なんともどうしようもないですね。現状の真実は、低福祉・超低負担というところでしょうか。そして莫大な長期債務のことを考えれば、この国の分相応な将来像は、中福祉・高負担となってしまいます。残念ですけど、ストックではなくフローを借金で賄ってきた日本は、論理的にはそうなってしまう。

[\(アレクサンドル1世の焦土作戦と財政投融资特別会計受入金——今日の NHK プレミアム 8 はナポレオンだったもので参照\)](#)

僕は当面でもいいから、負担増の部分から、社会保障の給付にどれだけまわすかを苦心しています（笑）。次の座談会は、通向き、プロ向きですけど、お手すきの時にでもどうぞ。

- 座談会「[税制改革の道筋を示し安定財源の確保を](#)」『週刊社会保障』  
No. 2529[2009. 5. 4-11GW 特別合併号]  
宮島洋氏（早稲田大学法学学術院教授）・渡辺俊介氏（日本経済新聞社論説委員・東京女子医科大学客員教授）

この座談会に関して、付け加えた文章です。

勿凝学問 229 [日本の財政戦略に関する私見への覚書——先日の『週刊社会保障座談会』でいつのまにか抜け落ちていた一文](#)

ではまた、いつでもご連絡下さい。